

単元を貫く問い どうすれば自然なやり取りができるだろう。

／ 単元ゴール 友達や ALT と、英語で『自然な』やり取りができるようになろう。

この単元と関連した領域の付いている力(◆)と内容(・)

【中村小学校第6学年の(「話すこと[やり取り]」ーアイウに関する CAN-DO リストより)

◆初対面の人や知り合いと挨拶を交わしたり、相手に指示や依頼をしてそれに応じたり断ったりすることができる。

◆日常生活に関する身近で簡単な事柄について、自分の考えや気持ちなどを伝えたり、簡単な質問をしたり質問に答えたり、それに反応したりすることができる。

◆自分や相手のこと及び身の回りのものに関する事柄について、その場で質問をしたり答えたり、それに反応したりして短い会話をすることができる。

本単元の目標

学習指導要領「話すこと[やり取り]」ーア
関心のある事柄について、簡単な語句や文を用いて即興で伝え合うことができるようにする。

「CAN-DO リスト」形式の学習到達目標「話すこと[やり取り]」1年生①
関心のある事柄について、分からないことや自分が関心のある事などを相手に聞き返しながら、簡単な語句や文を用いて即興で伝え合うことができる。

学びに向かう力、人間性等

話題に応じて、自分が知りたい情報を尋ねたり、話し相手の発話に応じたりして、やり取りを続けるために、関連する質問や反応などを返そうとする。また、動画などをもとに、自ら既習内容等を振り返り、より自然なやり取りをしようとする。

単元終了時のめざす生徒の姿

目的・場面・状況に応じて、自分が知りたいことを知るための質問をしたり、相手の発話に応じて関連する内容の質問や反応をしたりして、やり取りを続ける。

思考力・判断力・表現力等

話題に応じて、自分が知りたい情報を尋ねたり、話し相手の発話に応じたりして、やり取りを続けるために、関連する質問や反応などをしながら、やり取りを続ける。

知識及び技能

疑問詞 (what, /where/when/ how)や I want to などを用いた文の構造を理解する。また、日常的な話題でやり取りを続けるために、疑問詞 (what, where, when, how)や I want to などを用いて尋ねたり伝えたりする 技能を身に付ける。

活動

日常的な話題を用いて、簡単な質問や答えを伝え合うことで、やり取りを続ける活動。

与えられた目的・場面・状況に応じて、相手の発話内容に関連する質問をしたり、反応や発話をしたり、して会話を続ける活動。

目標：一つの話題で、関連のある質問や反応などをして、会話を続けるための思考力・判断力・表現力及び、既習事項や教科書の内容、これまでのやり取りの記録などから、必要なものを選択し、活用しようとする力を身に付ける。

目標：主に日常的なやり取りを一斉での言語活動を重ねて、必要な知識・技能を身に付ける

【知識・技能習得(4時間)】○一斉 ●個別(ICT 活用)
問い『やり取りを続けるには、どんな表現が使えるだろう。』

【第1時】

・ペアで日常的な話題の(英語での)やり取りがスムーズに続かないことに課題意識を持たせる。【○】
“Do you like sports?”
・ペアでやり取りを続けるには、どんな力が必要か考える。【○】
・互いを良く知るために、相手に聞きたいことを考え、JTE と ALT の対話から表現について学ぶ。【○○】
・ペアでやり取りをする。＊動画等で記録する。【○○】
＊What sports do you like? / Do you play ～? What club are you in? など

【第2時】

・前時の内容で Small Talk をする。【○】
・What club are you in? をトピックとしてやり取りをする。【○】
・このトピックでやり取りを続けるために、どんなことを尋ねたり答えたりすればよいか考え、教科書本文 Story1 から表現を学習する。【○○】
・ペアでやり取りをする。＊動画等で記録する。【○○】
＊Where do you practice? / When do you practice? / Where is ～? / When is ～? など

【第3時】

・前時の内容で Small Talk をする。【○】
・What do you use to practice? をトピックにペアでやり取りをする。【○】
・本文 Story3 を読んで、どのようなやり取りになっているか、内容を読み取る。【○】
・本文の空欄ごどのような質問が入るか考える。【○】
・ペアでやり取りのマッピングを作成し、やり取りする。＊動画等で記録する。【○○】
＊How many ～? など

【第4時】

・前時の内容で Small Talk をする。【○】
・What food do you like? をトピックとしてやり取りをする。【○】
・ALT と JTE のやり取り動画から、その内容を考える。【○○】
・ALT と JTE のやり取り動画から、ペアでのやり取りに活かせるような表現について考える。【●】
・ペアでやり取りをする。＊動画等で記録する。【○○】
＊Do you want to ～? / What do you want to eat for dinner today? / I want to ～. など

【第5時～第7時】

○ALT とやり取りする際、何を知りたいか、どんな内容でやり取りをしてみたいかを共有し、単元ゴールとして、ALT とやり取りをするためのトピックを3個程度設定する。
○身に付けるべき資質・能力を確認する。
○学習の手順を確認する。(整理・分析→やり取り→整理・分析→やり取り)
○教科書本文 Story2 などから、やり取りの際に相づちを打つことの良さなどについて確認をする。
●自分が取り組むトピックを決め、やり取りをするためのメモを作成する。(整理・分析)
●整理・分析した内容をもとに、同じトピックに向けて取り組んでいる生徒同士でやり取りをする。
●やり取り動画を確認し、さらに整理・分析をする。
●再度ペアでやり取りし、動画を共有する。
●別のトピックで同様にやり取りをする。
●定着度チェック課題に取り組む。
＊読んで書く(4～5問程度)。／聞いて書く(2～3問程度)。
●できるようになったことや課題について振り返りをする。
☆取り組みが進んでいるペア
●これまでに扱っていないトピックでやり取りをする。→動画を撮影して振り返る。
●ALT や JTE とやり取りをしてみる。→動画を撮影して振り返る。
【第8時】
○第5時で確認したトピックの中から選択肢、ALT とやり取りをする。
(動画撮影・共有)
○動画をもとに、単元を通して付いた力やこれからの課題について振り返りをする。

☆単元を通して扱う言語材料の習得を行う時間には、一斉での言語活動などを中心に行い、活用する場面で端末を用いた個別での学習に重きを置く。

評価規準

見方・考え方を働かせている生徒の姿

【知】

疑問詞(what, /where/when/ how)や I want to などを用いた文の構造を理解している。また、日常的な話題でやり取りを続けるために、疑問詞(what, where, when, how)や I want to などを用いて尋ねたり伝えたりする 技能を身に付けている。
＊パフォーマンステスト等で総括的な評価を行うため、記録に残す評価は行わない。生徒のノートや動画等をもとに、定着状況を見取る。

【思】

話題に応じて、自分が知りたい情報を尋ねたり、話し相手の発話に応じたりして、やり取りを続けるために、関連する質問や反応などをしながら、やり取りを続けている。

【主】

話題に応じて、自分が知りたい情報を尋ねたり、話し相手の発話に応じたりして、やり取りを続けるために、関連する質問や反応などを返そうとしている。また、動画などをもとに、自ら既習内容等を振り返り、より自然なやり取りをしようとしている。

話題に応じて、どのような質問をすべきか考え、学習した表現を活用してやり取りしている姿。

やり取りの中で、話し相手が話した内容に応じて、関連した質問や反応などを返しながら、やり取りを続けている姿。

生徒の実態と指導観

コミュニケーションに対して非常に積極的なクラスで、ペアでのやり取りに活発に取り組むことが出来る。第1学年では『やり取り』を扱う単元が初めてで、『やり取り』に関するパフォーマンステストは中学校では未実施であるが、Unit1、Unit2 終了後に実施した『話すこと(発表)ア』を扱った単元のパフォーマンステストでは、A 評価の生徒が55. 6%、B 評価の生徒が37. 0%、C 評価の生徒が7. 4%であった。生徒の発話内容から、自分のことについて、ある程度まとまった文量で、内容に関連を持たせながら伝えることができるようになっている反面、その中で be 動詞の運用についてのミスなども多く見られ、言語面での丁寧な指導が必要であると分析した。。

そのため、本単元の構成としては、単元前半には、目的に応じた自然なやり取りを続けるために必要な知識・技能の習得を目指した、一斉指導による言語活動を中心として行う。また、学習した表現を活用したやり取りの動画を撮影し、それらを学習の履歴として残していくことで、単元後半に個別で課題解決をしていく際に参照できるようにする。単元後半では、自らの学習履歴や他生徒のやり取り、またクラスメートとのチャットに残っているものや教科書などからヒントを得て、個別で学習を進め、課題を解決できるようにしていきたい。

【本時の目標】 1つの話題で、相手の発話などに合わせて関連する質問や反応などをしながら、自然な会話を続ける。			
【本時における見方・考え方】 学習した表現などをこれまでの学習の履歴や教科書などを用いて振り返り、それらを活用して新たな話題で自然なやり取りを続けようとする。			
問題 目指す自然なやり取りとは？ ●どちらか一方が聞き続けるのではなく、お互いに質問し合う。 ●関連をした質問をして、話題を深める。 ●反応などしながら会話できている。 ●スムーズに話す。 Topics ・food ・sports ・music ・Japan ・hobby(趣味) 学習の手順 先生たちのやり取り 動画 自分たちの動画 教科書 メモの作成 やり取り 振り返り(『関連』『あいづち』『お互いに』) 生徒から出た質問やエラーなどをもとに、全体指導した内容を板書する。 (例) What do you like sports? ↓ What sports do you like? *生徒が整理・分析したものややり取りの動画などで、参考にできるものは、ロイロノートなどで共有をする。		◎教科の見方・考え方を働かせて課題解決させる手立て (「問題」・「めあて」の工夫、まとめ、発問、活動など) 単元の構成として、単元前半では、単元の目標を達成するために必要な知識・技能(表現)の習得を目的とした言語活動を一斉での学習を中心として行い、活動に応じて個別で学習する場面を設定するようにする。後半では、課題を提示した上で、生徒がこれまでの学習の履歴(動画など)を振り返ったり、資料などから新たなことに気づいたりするなど、個別で学習する時間を中心に設定していく。 本時では、単元後半のスタートとして、これまでのやり取りを動画などで振り返らせるとともに、さらに自然なやり取りにするにはどうすればよいか、という点で課題意識を持たせる。その際に、ALT と JTE のやり取りの動画を比較し、「自然なやり取り」とはどういったものか明示できるようにしたい。やり取りを行う際には、毎回その様子を撮影させるようにし、その動画をさらに分析し、より自然なやり取りを目指して主体的に取り組んでいけるようにする。 また、生徒が個別で課題に取り組む中で、生徒同士が互いの取り組み状況や考えなどを参照し合えるように、教師が個々の状況を把握するとともに、クラスルームやロイロノートなどを用いてそれらを共有できるようにする。	
問題・めあての共有		個人思考・全体共有	まとめ・振り返り
1. ペアでスモールトークをする。 T : Now, let's talk in pairs. The first question is “What do you do in your free time?” S1, stand up. What do you do in your free time? S1 : Uh, I play game. T : I see. You play video games. What kind of games do you like, horror, action, adventure, …. S1 : I like action. T : Uh-huh. You like action games. How many games do you have? S1 : I have 6 games. T : Wow. T : Now, let's talk in pairs. → ペアでスモールトークをする (S-S) 。 2. 単元終末の課題について確認する。 T : You have a chance to talk with our ALTs, Art and Mosima. You should talk with them for 1 minute. What do you want to talk about with them? S : 食べ物のこと／スポーツのこと／好きなもの／趣味 T : 何のためにそんなことをやり取りしたいのですか？ S : もっと A L T についてよく知って、普段から話ができるようにしたい。 T : I see. Now let's try it in pairs. Please talk about food in pairs. 生徒の発話例 S1 : What food do you like? S2 : I like curry and rice. S1 : I see. S2 : How about you? S1 : I like cakes. S2 : I see. S1 : Do you like cakes? S2 : Yes, I do. S1 : What curry toppings do you like? S2 : I like cheese. S1 : I see.	3. 問題を設定する。 T : ALT とのやり取りを想定して、『自然な』やり取りができましたか。 S : まだ会話がぎこちない。／スラスラ話せない。／簡単な質問ばかりで深まっていない。 など S : そもそも自然なやり取りってどういうことですか？ 問 : 目指す自然なやり取りとは？ 4. めあてを設定する。 T : 自然なやり取りをするために、どんなことを目指しますか？ S : 関連する質問をして、話を続ける。／あいづちをして、会話をスムーズにする。／お互いに質問し合う。 など めあて : 『関連』『あいづち』『お互いに』を意識して、やり取りしよう。 5. 学習の課題・手順を確認する。 【学習課題 (3 時間) 】 1. 自分たちで設定した 3 つのトピックを、ペアでやり取りして動画で提出する。 2. 定着度チェック問題 (読んで書く、聞いて書く) に取り組む。 【学習の手順】 1. 取り組むトピックの順番を決める。 2. 自分が最初に取り組むと決めたトピックでやり取りをするためのメモを作成する。 3. そのトピックでやり取りをする準備ができたら、チャット等でペアを募集し、やり取りをする。(動画の共有) 4. 動画を確認し、振り返る。(再構築して、再度取り組んでもかまわない) 。 * 撮影した動画については、最新のものを必ず共有する。 課題 1, 2 が全て終了した生徒は、実際に任意のトピックで ALT とやり取りをする。	※考えられる生徒の活動・教師とのやり取りなど ○ALT と JTE のやり取り動画を見返して、『自然なやり取り』について分析する。 T : 何に注目して聞いてますか？ S : 先生たちがどんなあいづちを使っているかです。 T : どんなのを使っていた？ S : I see. / Really? それから サウন্ズなんか、みたいな・・・ T : Everybody, listen to me. S1 is learning about reaction. S1, what kind of reaction did you hear? S : I see. / Really? / サウন্ズなんか T : It is “Sounds nice.” or “Sounds like fun.” 「ナイスだね」とか「楽しそうだね」というあいづちですね。 Everybody, let's practice with me. … ○自分たちのこれまでのやり取りの動画を確認して、表現などをメモする。 T : 何か使えるようなところがありましたか？ S : food について話すときに、What food do you like?だけじゃなくて、ALT に向けてなので、どの日本食がとかって聞いたらいいかなと思ってメモしてました。 T : どう聞く？ S : What Japanese food do you like ? T : That's a good idea. Please share your idea on the CHAT. ○分析・整理したことをもとにペアでやり取りをする。 * チャット等で自分が取り組んでいるトピックでやり取りできる相手を募集する等して、やり取りをするペアについても固定しない。 生徒の発話例 S1 : What Japanese food do you like? S2 : I like sushi, ramen, and tatakai. S1 : Do you like sushiro? S2 : Yes, I do. I sometimes go to sushiro.	S1 : What sushi do you eat at sushiro? S2 : I eat salmon cheese. S1 : Oh, really? I like salmon cheese too. S2 : Nice. I want to go to sushiro with you. S1 : Good idea! T : How was your conversation? S : けっこう 1 つの話題で深められたと思います。 T : That's nice. 『関連』『あいづち』『お互いに』ができましたか？ S : 『あいづち』がちょっと少なかったのと、『お互いに』聞き合うことが出ていませんでした。 T : I see. Then, please try again. 共有された動画を確認し、表現や工夫などについて学ぶ。 T : Everybody, please watch the video from S1. He said, “What Japanese food do you like?” because you will talk with ALT. 相手を意識して質問を変えているのが良いですね。他にそんな工夫をしているペアはありませんか？ S : Can you eat ~?を使って、食べられる日本食を聞こうとしました。 毎時の振り返り 本時で付いた付いた『やり取り』の力と、次時に向けた課題を振り返る。 ※単元のまとめ 自分たちで撮影したやり取りの動画を撮影する。
<指導上の留意点> 単元終了時に行う ALT とのやり取りのトピックについても生徒から発言させ、目的意識を持たせる。		<指導上の留意点> ・生徒の活動状況を机間指導や共有ノートの様子、提出物の状況などから把握し、生徒の学びが進むように、助言や発問などを適宜行っていく。また、教師がそれぞれの生徒に発問したり支援したりしている動画を、随時録画・共有することで、他生徒の学びからもヒントを得られるようにする。	
評価規準		【主】話題に応じて、自分が知りたい情報を尋ねたり、話し相手の発話に応じたちして、やり取りを続けるために、関連する質問や反応などを返そうとしている。また、動画などをもとに、自ら既習内容等を振り返り、より自然なやり取りをしようとしている。	
		<指導上の留意点> 本時で取り組むべきことが早く終わった生徒には、次の課題を用意し、個人の進度で学びを進められるようにする。	
		【思】話題に応じて、自分が知りたい情報を尋ねたり、話し相手の発話に応じたりして、やり取りを続けるために、関連する質問や反応などをしながら、やり取りを続けている。	